

2003 年度 委員会活動成果報告

(2004 年 3 月 15 日作成)

委員会名	土地利用小委員会	主 査 名： 中出文平
所属本委員会 (所属運営委員会)	都市計画委員会	委員長名： 佐藤滋
設 置 期 間	2003 年 4 月 ~ 2005 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画	我が国の土地利用制度、土地利用規制、土地利用計画の実態を探り、その問題点を提示して、将来に向けた枠組のあり方を検討する。 2003年度は、前年度まで本小委員会で行った区域マスに関する都道府県アンケートの集計をもとにPDを開催し、今後の研究の視点、論点の整理をした。 2004年度は、引き続き区域マスに関して、2004年6月には全都道府県で区域マスの実態が明らかになることから、より具体的な提案へと結びつける。	
委員構成 (委員名(所属))	青木健(日経BP社)、阿部成治(福島大)、姥浦道生(豊橋技大)、大貝彰(豊橋技大)、塩崎賢明(神戸大)、高見沢実(横浜国大)、中井検裕(東工大)、中出文平(長岡技大)、濱田学昭(和歌山大)、和多治(横浜国大)、稲田和美(不明)	
設置WG (WG名:目的)		
2003年度予算	220,000円	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	2003大会時PD開催(委員8名参加) - 委員会も同時開催 2004/3/12 参加者5名+ゲストスピーカー1名
得られた成果	(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無) 2002年度(前主査・濱田学昭和歌山大学教授)に区域マスに関する都道府県アンケートを行い、そのとりまとめが行われた。 2003年度は、アンケートの分析をもとに大会時にPDを土地利用小委員会主催で開催し、区域マス策定途上の都道府県が抱える悩み、非法定の圏域マスの位置づけ、白地の土地利用方針の内容、などについて議論を深め、今後の研究を進める上での重要な視点、論点の指摘を参加者から受け、それをもとに小委員会での議論を整理した。 委員会HPアドレス:
目標の達成度	(当初の活動計画と得られた成果との関係) 大会時のPDは盛況であった。また、PDでは活発な議論が交わされ、次年度以降の活動にとって、必要な視点が提示されたことから、当初計画で想定した通りの成果を挙げた。 一方、年間の活動については、本年度、各都道府県の区域マス策定状況に関する情報収集を図り、次年度以降の基礎とする事としていたが、あまり多くの県からの情報を収集できなかったため、議論も未熟な部分がある。
その他評価すべき事項	今年度のPDを受けて、来年度はオーガナイズドセッションを企画している。